



東京発

小池絵未の国際機関探訪

こんにちは！小池絵未です。今回は、国連世界食糧計画(国連WFP)日本事務所の中井恒二郎(なかい・こうじろう)さんを訪ねました。

◆今回訪問した国際機関 国連世界食糧計画 (国連WFP)

- 国連WFPは、飢餓と貧困をなくすことを使命とする国連唯一の食糧支援機関です。
- 伊ローマに本部があり、災害や紛争時の緊急支援、栄養状態の改善、学校給食の提供などを活動の柱にしています。
- 日本は主要な支援国のひとつ。
- 国連WFPは、1961年設立。すべての人が、活動的で健康的な暮らしを送るために必要な食糧を常に手にできる世界の実現を目標とし、2015年、81カ国で7,670万人に食糧支援を実施。約1万4,000人の職員の9割近くは途上国の支援現場での活動に従事。
- 日本では、1996年国連WFP日本事務所が開設。日本政府との連絡業務、企業や各種団体・他の支援組織との協力関係の推進、および広報活動を行なっています。

◆お話を聞いた方
なかい こうじろう

中井 恒二郎さん

国連世界食糧計画
(国連WFP)日本事務所
政府連携担当支援調整官



①いつ頃、国際機関で働こうと思いましたか？

大学2年生の時に、関西の下宿先でテレビをぼんやり見ていたら明石康さん(日本人として初めて国連職員に採用された方)のことをやっていました。

明石さんは、当時1993年に国連の事務総長特別代表として、カンボジアに行っていて、その時に防弾チョッキを着用して、30数人の外国人を引き連れてインタビューに答えていたんです。

それを見た大学生の私は、「これこの人カッコいいな！」と思いました。

本当にそれだけのシンプルなきっかけだったのです。

当時は、国連という組織についても詳しくなかったですし、ぼんやり将来何をしようかなと考えていたら、日本人が外国人を引き連れている明石さんをテレビで見て、国連について調べ始めたんです。

そのような多国籍チームで働くことにあこがれを持っていました。

②どのような学歴をお持ちですか？

日本で小中高と卒業して、留学経験も全くなく、同志社大学に進学しました。大学では、法学部で国際政治を学びました。

初めて海外に出たのは、20歳の時で、バックパッカーとして中国を旅行しました。

その後、中国武漢大学に交換留学生として渡りました。アルバイトをしてお金を貯めて、貯まったらバックパッカーでとして中国や東南アジアに行くということを2-3回していました。

そして、日本に帰国後、大学を卒業し、自費で中国に渡り、中国の日本大使館で派遣員になりました。大使館で2年間勤務後、貯めたお金でアメリカのピッツバーグ大学大学院に留学しました。

大学院では、公共政策の勉強をして、政治と経済を両方学びました。その後、日本に戻り伊藤忠商事に就職しました。

語学は、最初は中国語も全く喋れなかったのですが、中国に留学した最初の半年間に集中的に学びました。

この時点では、英語も全くできませんでした。英語は、ピッツバーグの大学院に進学するまではあんまりできませんでした。

でも、半年程したら英語が聞けるようになり、1年程で喋れるようになりました。

③国際機関に入る前はどのようなお仕事をしてきたのですか？

伊藤忠商事の新規物流事業部で物流や通信開発やネット系のお仕事をしていました。

そこでは、必要なものを必要な時に必要な時間にお届けするという物流の基本のマインドを学びました。

中国での派遣員の経験と伊藤忠商事での1年半の勤務を合わせ、国際機関に入る前のキャリアは合計3年半くらいです。

④どのような方法で国際機関に入りましたか？

大学院に通っている時からJPO試験は受けたのですが、書類審査などで選ばれませんでした。

29歳で伊藤忠商事に勤務している時に2回目の応募をして、合格しました。

実は、最初は大学で経済の勉強をしてUNDPを目指していたのですが、商社で物流の仕事をした経験があったので、国連WFPに興味がないかと面接の時に聞かれたのがきっかけなんです。

国連WFPは物流と通信にも強い組織も取り扱っています。食料をアフリカやシリアなどの紛争地・被災地に運ぶためには、道路や倉庫路地がないと運べないので物流と関わる仕事なんです。

⑤今までの仕事について詳しく教えてください！

国連WFPは、難民キャンプで5,000人以上難民がいるときは、難民や国内避難民、自然災害の被災者などに食料を届ける仕事をしています。

食料は、テントなどと違いすぐに食べ終わってしまうので、毎月配らないといけません。

食料を届けると最低月に1度は避難民の方に会うので、毎月必ず遅れずに持っていくことによって信頼感が出来ます。



色々な学校やキャンプに行くので、すごく現場に近い仕事です。

主に、主食と豆(タンパク質)と油と調味料などを持って行きます。

トルコやヨルダンやレバノンのシリア難民がいるところは、スーパーなどのインフラが整っているため、最近はお金や食料のクーポン券をあげたりします。

JPO試験に合格して、最初はイタリアのローマの本部に2001～03年まで2年間勤務しました。南アフリカのヨハネスブルグに地域局があって、政府からの資金調達のポストで、JPOの3年目として赴任しました。

その時に正規職員になり、1年半勤務しました。

その後、日本事務所に2005～08年までいました。そして、ミャンマーで2年間、スーダンで2年半地方事務所長として現場を指揮しました。

2011年の東日本大震災では仙台に現地調整官として派遣され、2013年に日本事務所に戻りました。

現場には通算5年ぐらいいて、あとは本部や地域局や日本などで11年間資金集めやパートナーシップなどを担当しています。

今は、日本に帰ってきて4年経ち、日本事務所では、NGOの方と一緒に現場で連携しましょうという話し合いをしたり、政府からの資金調達やパートナーとの連携や広報活動、親善大使や国会議員とのやり取りなどを行っています。

最近の仕事で特に面白かったのは、2015年のバヌアツ・サイクロン支援で多国籍部隊を率いたことです。

外国人達をまとめなければいけない時にまとめるのは困難もありますが、面白いです。貴重な経験でした。

多国籍部隊の統率を楽しくしていると、明石さんに少しでも近づけたなと思いますし、思い描いていた夢の場所に立てた気がしました。

あとは、去年、熊本地震の時に、国連WFPは国連の中でリーダーのような立場では唯一現場で支援活動をしました。

国連WFP部隊のリーダーとして現場を仕切ったりして、2ヶ月間滞在し、活動しました。

緊急援助の仕事は2-3ヶ月と早くて結果が出て分かりやすいのでやりがいがあると思います。

⑥今後のキャリアについてどのようにお考えですか？

今は、国連WFPに勤務して16年目になります。やっぱり自分は現場経験が5年間と少ないので、イエメンやシリアに行っ、最前線の若者たちをサポートするようなマネージメント業務をしたいです。

⑦国際機関を目指している方にメッセージをお願いします！

まず、夢を持とう！と伝えたいです。細かいことは考えず、まず何かに憧れを持ってやってみて欲しいです。

できるかどうかは、だんだんと自分でも分かりますし、ダメな時でも次の展開が見えてきます。

ある程度頑張ると自分でこっちに行った方がいいとか、アドバイスを聞いてみようとか思えてきます。

私の長所は、フレキシブルなところですから、やってみてだめでも違う道が拓けてきます。

20代まではお金がありませんでしたが、お金は後からついてきます。

夢を実現するため、アルバイトや派遣員をしたり、奨学金をもらったりすればいいのです。

努力していれば、自分なりの納得する答えが見つかるので、大きな夢や目標を持って、たとえ、それが実現しなくても人生終わりではないと思うことが大事です。

今の若い人たちにはどんどんチャレンジして欲しいです。

③ 今回の取材を振り返って。感じたこと。

中井さんのように、日本や世界を動かす仕事をしている方は、本当に素晴らしいし、カッコいいなと思いました。

そして、今までのたくさんの経験に加え、さらにとてもフレンドリーな性格だったので、お話していてとても楽しかったです。

さらに驚いたのが、この仕事につくきっかけが本当にシンプルな憧れだったということです。

少年がかっこいい野球選手をテレビで見て、憧れてプロ野球選手になったのと同じで、中井さんもテレビで憧れるヒーローを見て、それを目指して、今はそのヒーローと同じ存在になっているということです。

私も、実は中井さんと同じで、テレビや雑誌で見たチアリーダーに憧れて、のちにNFLの舞台で踊るという夢を叶えました。

だからこそ、中井さんの今までの努力と苦労をすごく共感できるし、この先も中井さんに憧れて、国際機関で働く日本人が増えていったらいいなと思いました。



小池絵未 (Emi Koike)

1983年11月7日生まれ。東京都渋谷区出身。

高校から競技チアを開始し、3年連続で日本選手権大会第3位。米国ウェスタン・ケンタッキー大学に進学。大学のチアダンスチームに所属し、2005年全米大学チア・アンド・ダンス選手権で優勝。

その後、NHL ナッシュビル・プレデターズ、アトランタ・ホークス、NHL アトランタ・スラッシャーズのダンスチームのメンバーとして活躍。2011年からはNFLのチアリーダーとしてニューヨーク・ジェッツで活躍。

NFL、NBA、NHLの米国3大スポーツリーグでチアリーダーに選出されるのは、日本人としては史上初。2013年チアリーダーを引退し、日本テレビ NFL 倶楽部の現地リポーターとして活動中。ニューヨーク在住現地スポーツリポーターとして、NFLだけでなく、NBA、MLBの取材にも携わっている。

外務省 国際機関人事センターNewsletter
「小池絵未の東京発国際機関探訪」VOL.8

出演：中井 恒二郎 国連世界食糧計画（国連WFP）
日本事務所 政府連携担当官支援調整官

取材地：東京

2017年9月25日発行



外務省 国際機関人事センター

jinji-center@mofa.go.jp / 03-5501-8238

<http://www.mofa-irc.go.jp>



<https://www.facebook.com/MOFA.jinji.center>